

# 第 40 回 りんどう ALPEN ATTACK 2017

## 阪口知洋 参戦レポート



※第 40 回 りんどう ALPEN ATTACK 2017 概要

JAF 東日本ラリー選手権 第 7 戦

日時：2017 年 9 月 9 日(土)、10 日(日) 路面：全線舗装 (当日の天候；晴れ 路面；ドライ)

### 1. リザルト：東日本選手権 BC-2 クラス 4 位

- 1 ステを Top で切り抜けることができたが、2 ステ・3 ステと大幅に逆転されてしまった。  
特に 3 ステ SS7(高速で広いコース)でベテラン勢に大負けし、一矢報いんと Push した SS8 では鹿出役に見舞われ、結局 クラス 4 位と非常に悔しいラリーとなった。

### 2. 所感

- 前回と比べ 比較対象選手(安澤選手)とのタイム差を 1 秒/km 以上詰めることができた。  
前々回(3.0 秒/km)、前回(1.8 秒/km)、今回(0.7 秒/km)と着実に差を詰めることに成功。
- 完走後に上位入賞者に聞くと自分とライン取りが全く違っていた(いわゆる「地元ライン」があるそう)。  
つまり、レッキ 1 本目でいかに正解ラインを見極められるかが重要ポイントであった。  
(※特に今回はレッキが 1 回しかなく、よりシビアだった)。

(所感の続き)

- ・次戦は残念ながら魚谷選手が出場できないが、逆に普段と違う Nv の考え方を知る機会にしたい。
- ・今回のラリーで床面(オイルパン、メンバーなど)と路面の接触があり、アンダーガードを付けたい。  
この他、車両トラブルが出ないように(出ても対処できるように)して安心して踏める体制を作る。
- ・現状、登りでアンダーが強く、ドライビングの改善と合わせてセッティングについても突き詰める。
- ・その他、前回の改善事項の振り返りも含め 今後の対策を下の通りまとめた。

継続or新規	分野	対策内容	達成状況と次のアクション
継続	PN	レキ1本目のDrfによる左右言い間違いをなくす	○ ハンドルのバンドマークに「R、L」を書くことで大幅改善
		レキ1本目の速度UPと速度の安定化	○ 速度30km/hでPNを作成することには慣れた
		PN練習の回数を増やす(Min1回/週)。その為に誰でも読めるようPNのルールを明文化する。	○ ルールの明文化は完了。後はどう精度を高めるかがポイント。
		高速セクションでのノートを読むタイミングの改善	○ 読み遅れもなく、適切なタイミングで読めた
		レキ2本目でのバンド修正を原則禁止にして訓練する	△ 次のラリーまでの練習をPN練習に絞り、ノート精度UPを図る(例外:セッティング出し)
		攻める為のワーディングの追及	△
新規		Nv変更で違った考え方やアプローチを学ぶ	- ノートの読み方や表現など 普段と違うNvから学ぶ
継続	苦手コンディション対策	練習コースを端から端まで・登り下り 両方共に全開で走るようにする	△ 取り組んではいるがまだ不十分。狭い道などに課題が残る。引き続き、「嫌な道」のPN練習が必要。
		練習1回あたりに走る回数に制限を設け(例:4回/日まで)、スロースターター克服を目指す	○ スロースターター 傾向は軽減された
		タイヤのウォームアップを練習しておく(※勿論、ウォームアップが安全にできる場所で行う)	△ 今回はウォームアップできる道がない(移動区間がギリギリまでグラベル)などで実施できず。次回以降で実践したい。
継続		Dr -15kg / Nv -5kg の減量を目指す	× 未達に終わった、要継続取組
新規	車両ポテンシャルUP	車両補修、アンダーガード取り付け	- 思い切って攻めることができる車両整備を徹底する
		セッティングを煮詰める	- 特に登りのアンダー傾向への対策を行う。 コースに合わせてラリー中のセッティング変更を厭わない。 同時にドライビングの見直しも必要。
新規	その他	常に他クルーのタイムを集計する(タイム争いになれる)	- 他クルーのタイムに一喜一憂せず、自分の走りができるよう、他クルーの情報を常につかんでおく。

○ : 80%以上目標達成。 △60%以上目標達成 ×目標達成度60%以下

・なお、比較対象選手(Benchmark)およびクラス優勝者とのタイム差分析は下の通り

	Driver	Vehicle	SS No, SS distance( Time (Sec) Gap (sec/km)	Stage 1					Stage 2			Stage 3				Overall
				SS1	SS2	SS3	SS4	ub tota	SS5	SS6	ub tota	SS7	SS8	SS8	ub tota	
Class winner	Kurihara	Honda City	72	295	293	63	723	189	185	374	380	382	117	879	1,316	
			-1.0	-0.4	-0.4	1.0	-0.3	1.2	0.6	0.9	2.3	1.4	1.0	1.8	1.0	
Bench mark	Anzawa	Mazda Demio	71	290	297	64	722	184	188	372	396	378	119	893	1,329	
			0.0	0.6	-1.2	0.0	-0.3	2.2	0.0	1.1	0.0	2.0	0.0	0.9	0.7	
My result	Sakaguchi	Nissan March	71	293	291	64	719	195	188	383	396	392	119	907	1,354	

### **3. MIDLAND 製品について**

- ・ミッションオイル : 走行約 8,000km で交換した。ややシフト(特に 1 速)の入りが渋めになっていたが、少し改善した。ただし走行距離を考慮すれば、性能劣化は非常に少なく、改めて AK6 の驚異的な性能を実感できた。  
(Pro AK6 80W-90)
- ・エンジンオイル : Ballet 5W-20 → Ballet 5W-20(同銘柄・粘度)に交換した。  
(Ballet 5W-20) 約 3,000km 弱でのオイル交換となったが、交換直前までフィーリングの変化はほぼ無かった。ただし、交換後のオイルは目視ではかなり汚れていた。登りで全開率の高い SS があり、水温はやや高めで推移したが、特にトラブルなく走り切りことができた。

### **4. 次回参戦予定**

東日本ラリー選手権 第 9 戦 第 36 回八子ヶ峰ラリー2017  
(@長野県 10/21(土)~22(日)開催) に参戦致します！



**第 40 回 りんどう ALPEN ATTACK 2017 参戦へのご支援**

**ありがとうございました！**